

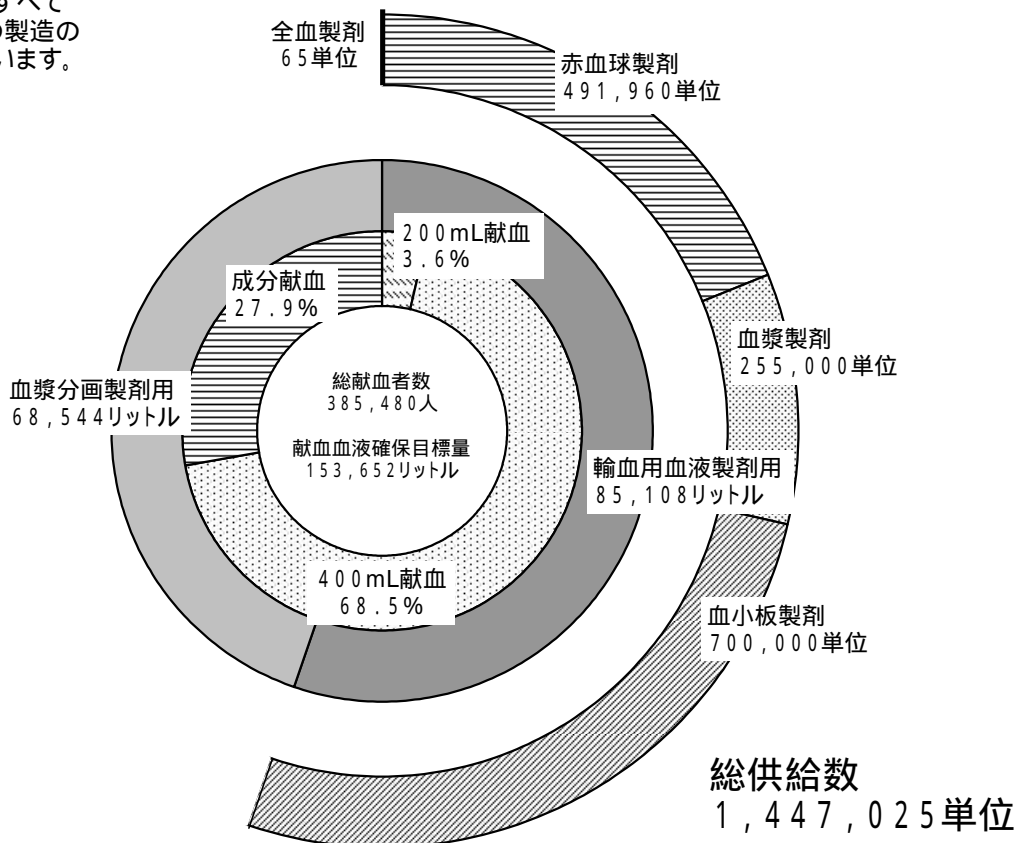
# 平成22年度 献血目標

献血していただいた血液は、医療機関に送られ、がん、血液や造血器の病気、各種感染症、やけど、交通事故などの患者さんの治療に幅広く使用されます。

・血漿分画製剤に必要な血漿量は、全国で96万リットル(平成22年度)です。

\*より一層の安全性向上のため、400mL献血の献血目標割合を、95%(全血献血中構成比)としました。

・血液センターでは、医療機関へ供給されず、期限切れなどにより、輸血に使われなかった血液の血漿成分を、すべて血漿分画製剤の製造のために使用しています。



・医療機関では患者さんの病気や症状によりそれぞれ血液製剤が輸血されます。

・1単位は、約200mLの血液から得られる各製剤の量です。

	献血者数(人)	構成比(%)	献血量(L)	採血場所別献血者目標(人)			
				血液センター	献血ルーム	移動採血車(オープン献血含む)	
全血献血	200mL	13,900	3.4	2,780	357	5,183	8,360
	400mL	264,000	68.2	105,600	5,782	79,367	178,851
成分献血	血漿	44,800	28.4	50.6	3,420	41,380	0
	血小板	62,780		49.4	25,112	4,854	57,926
合計	385,480		153,652	14,413	183,856	187,211	